

平成20年1月16日
内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)

情報セキュリティ政策会議 第1回基本計画検討委員会の開催について - 「第2次情報セキュリティ基本計画」(仮称)の策定に向けて -

本日1月16日、情報セキュリティ政策会議(議長:内閣官房長官)の下に設置された

- 情報セキュリティ政策会議 基本計画検討委員会
(委員長:須藤 修 東京大学大学院情報学環教授)

の第1回会合が開催され、その概要は次のとおり。

1. 情報セキュリティ政策会議 基本計画検討委員会について

- 我が国における情報セキュリティ問題を俯瞰した中長期の戦略である「第1次情報セキュリティ基本計画」(平成18年2月2日決定)は、平成20年度が最終年度である。
- 昨年12月、情報セキュリティ政策会議において、官民における各種の取組み、技術革新の動向、制度改正などを含めた社会環境の変化を踏まえ、平成21年度以降の基本計画の策定に必要な調査検討を行う「基本計画検討委員会」を政策会議の下に設置することを決定した。
- 「第1次基本計画」は、体制整備を中心とした我が国の情報セキュリティ政策の取組み開始に重点を置いているが、平成21年度以降の基本計画の策定においては、高度情報通信ネットワーク社会を迎えた我が国に適した「情報セキュリティ政策」を幅広く検討する予定である。
- 議論の状況については、随時、政策会議に報告する。

※ 「基本計画検討委員会」は、第15回情報セキュリティ政策会議(平成19年12月12日)で設置が決定されました。

→<http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/index.html#seisaku15>

※ 「第1次情報セキュリティ基本計画」は、第4回情報セキュリティ政策会議(平成18年2月2日)で決定されました。

→<http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/index.html#seisaku04>

2. 本日の議事内容について

- 委員の互選により、須藤修委員を委員長に選出した。
- 会議資料5「「第2次情報セキュリティ基本計画」(仮称)に係る検討の視点(例)」を用い、事務局から、これまでに寄せられたコメントなどに基づく、検討の視点の

例を提示した後、本資料に基づいて、委員間で議論が展開された。

検討の視点 (例) 【資料5参照】

1 基本認識

- ・ 現在の社会環境とITが果たす役割
- ・ 情報セキュリティ政策に関する現状認識と評価

2 総論

- ・ 情報セキュリティ政策の理念
- ・ 第2次基本計画の枠組み

3 各論

(政府機関/重要インフラ/企業/個人/技術開発/人材育成/国際連携・協調/犯罪取締り、権利利益の保護・救済/その他(法制度関係))

3. 今後の展開

○ 今後、以下のスケジュールで検討を行って行く予定である。【資料6-1参照】

平成20年1月16日(本日) 第1回委員会の開催

2～3月 産業界、消費者、府省等の関係者からのヒアリング
ワークショップ開催等の意見インプット機会の設定

4月 「第一次提言」(仮称) (パブコメ案の政策会議決定)

6、7月頃 検討再開～以後、数回開催

12月頃 「第2次情報セキュリティ基本計画(仮称)」(案)
(パブコメ案の政策会議決定)

平成21年2月 「第2次情報セキュリティ基本計画(仮称)」
(政策会議決定)

【本件に関する問い合わせ先】

内閣官房情報セキュリティセンター

山口補佐官、関参事官、寺本、山川、矢作

電話 03-3581-3768 (センター代表)

※ 「情報セキュリティ政策会議」は、平成17年5月30日のIT戦略本部決定によって設置されました (<http://www.nisc.go.jp/press/pdf/050530seisaku-press.pdf>)。

※ 本日の会議資料は、内閣官房情報セキュリティセンター(NISC)ホームページ (<http://www.nisc.go.jp/>) において公表しています。また本日の議事要旨を同ホームページにて後日公表いたします。